

基本政策 21

誰もが安心して生活を送ることができる

情報の提供と相談体制の充実に努め、市民が抱える不安や悩みを解消し、様々なトラブルに巻き込まれることなく、誰もが安心して生活を送ることができる“まち”を目指します。

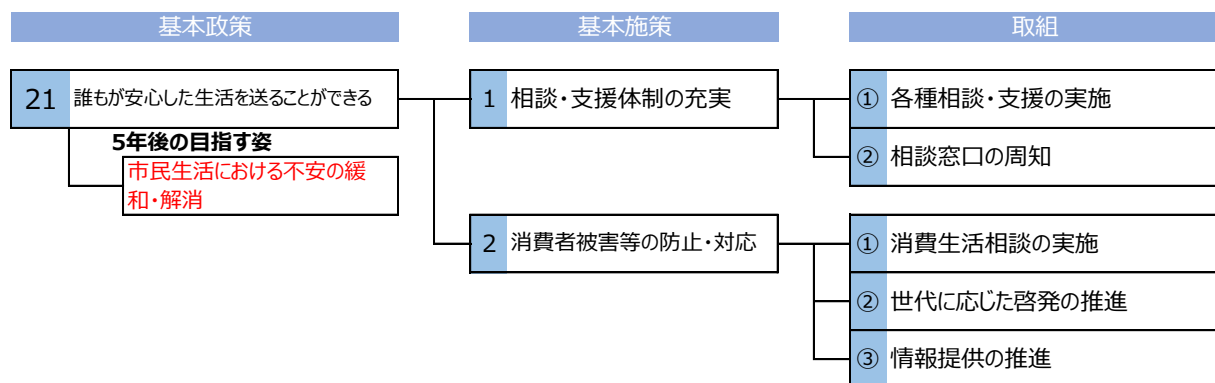
5年後の目指す姿

「市民生活における不安の緩和・解消」

適切な相談・支援を実施することにより、市民生活における不安が緩和・解消されることを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
「市民相談の充実」に対する満足度 (市民意識調査)	56.2%(R6)	60.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

21-1 相談・支援体制の充実

多様化する相談内容への対応や、誰もが相談しやすい体制の構築により、相談・支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	市民相談等に関する相談窓口の認知度 (アンケートモニター調査)	66.7% (R7)	75.0%(R12)

【主な取組】 相談窓口の周知

幅広い世代に向けた相談窓口の周知を図るとともに、多様な相談ニーズに対応した各種相談・支援を行います。

【KSF】	現状値	目標値
S N S等を活用した周知の実施回数	4回/年 (R6)	⇒ 6回/年 (R12)

21-2 消費者被害の防止・対応

安心して生活を送ることができる社会を目指し、被害を未然に防ぐ啓発などを行い、消費者被害の防止・対応を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	消費生活相談に関する相談窓口の認知度 (アンケートモニター調査)	48.9% (R7)	75.0%(R12)

【主な取組】 情報提供の推進

消費者トラブルや相談事例を広報等で情報提供し、消費者被害の未然防止を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
情報提供の回数	13回/年 (R6)	⇒ 24回/年 (R12)

関連するSDGsゴール



相談体制を充実し、不安を取り除くことで、誰もが、安心した生活を送れることを目指します。

関連ターゲット (10-3)



誰もが相談しやすい環境を作り、不安をいつでも取り除くことができることを目指します。

関連ターゲット (11-1)



様々な相談に対応できる体制を構築することで、消費者被害の防止や円滑な対応につながります。 関連ターゲット (16-3、16-4)

関連計画等

富士見市男女共同参画プラン (第4次) (令和3年度～令和12年度)

関連部署

協働推進部 人権・市民相談課

基本政策 37

富士見市のファンが増え、賑わいが生まれる

市民がいつまでも「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進め、市への愛着が醸成されるとともに、市の魅力を積極的に発信し、市外からは「行ってみたいまち」、「住んでみたいまち」として、富士見市のファンが増加することにより、新たな賑わいが創出される“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「市民の市への愛着が深まる」

地域資源の活用による魅力向上により、「ふるさと富士見」への愛着醸成を目指します。

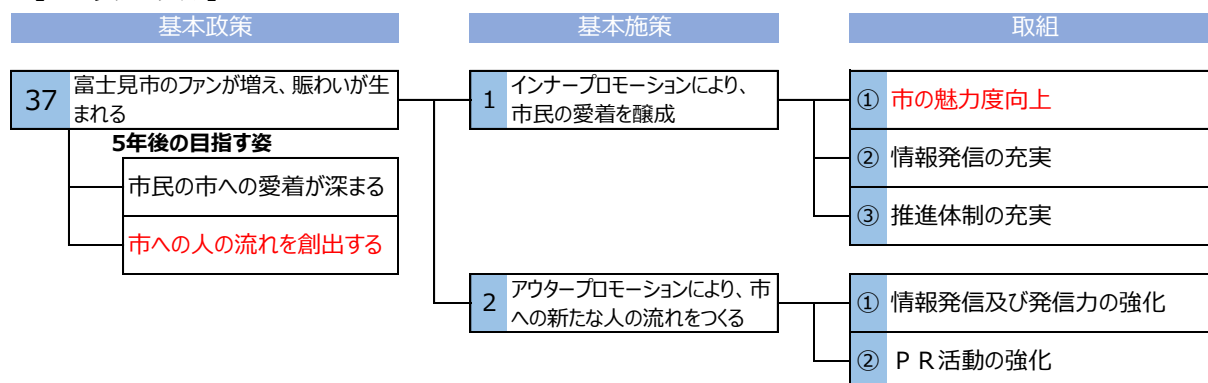
数値目標	現 状 値	目 標 値
「市に愛着を持っている人」の割合 (アンケートモニター調査)	89.5% (R6)	92.0% (R12)

「市への人の流れを創出する」

市内外に向けた効果的な情報発信により、市への興味関心や共感に繋げることで人の流れを創出します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
人口増減数 (事務処理年報(住民基本台帳))	246 人 (R5)	374 人 (R8~R12の累計の年平均)

【ロジックモデル】



基本施策

37-1 インナープロモーション¹により、市民の愛着を醸成

市の取組や地域の魅力の情報発信を強化し、愛着の醸成を図ります。

KPI	指標	現状値	目標値
	「住み続けたい」と回答した割合	79.9% (R6)	83.1% (R12)

【主な取組】 市の魅力度向上

地域資源を活用したまちづくりにより、市の魅力向上に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
地域活性化研究会等とのミーティング数	3 件 (R5)	⇒ 30 件 (R8～R12 累計)

37-2 アウタープロモーション²により、市への新たな人の流れをつくる

市の認知度向上と市外からの人の流れをつくるため、地域資源の活用による P R 活動や様々な媒体を活用した情報発信により、交流人口³や関係人口⁴の創出を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	公式 Instagram フォロワー数	2,185(R6)	5,000(R12)

【主な取組】 情報発信及び発信力の強化

市外に向けて効果的な情報発信を行うため、市公式 Instagram、各種広告を活用するとともに、市職員への研修等を通じて発信力強化に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市公式 Instagram 投稿数	74 回／年	⇒ 96 回以上／年

¹ 「住んでいてよかった」「住み続けたい」と思ってもらえるよう、市民に向けて行うプロモーションのこと

² 「行ってみたい」「住んでみたい」と思ってもらえるよう、市外に向けて行うプロモーションのこと

³ その地域に訪れる（交流する）人のこと

⁴ 富士見市に住んでいる「定住人口」や、「交流人口」に当てはまらない、地域や地域の人々と多様に関わる人のこと

関連する SDG s ゴール



新たな人の流れを創出し、地域の賑わいを創出します。

関連ターゲット（8-9）



富士見市の産業の付加価値発信に取り組みます。

関連ターゲット（9-b）



産官学民の連携により効果的なプロモーションに取り組みます。

関連ターゲット（17-17）

関連計画等

関連部署

総務部 秘書広報課

政策財務部 シティプロモーション課

基本政策 38

災害に強いまちとすることができる

災害から市民の生命・財産を守るため、自助及び共助の、より一層の促進を図るとともに、公助のさらなる充実を図り、防災力を高めることで、安心して暮らすことができ、市民が災害に強い“まち”と感

じることを目指します。

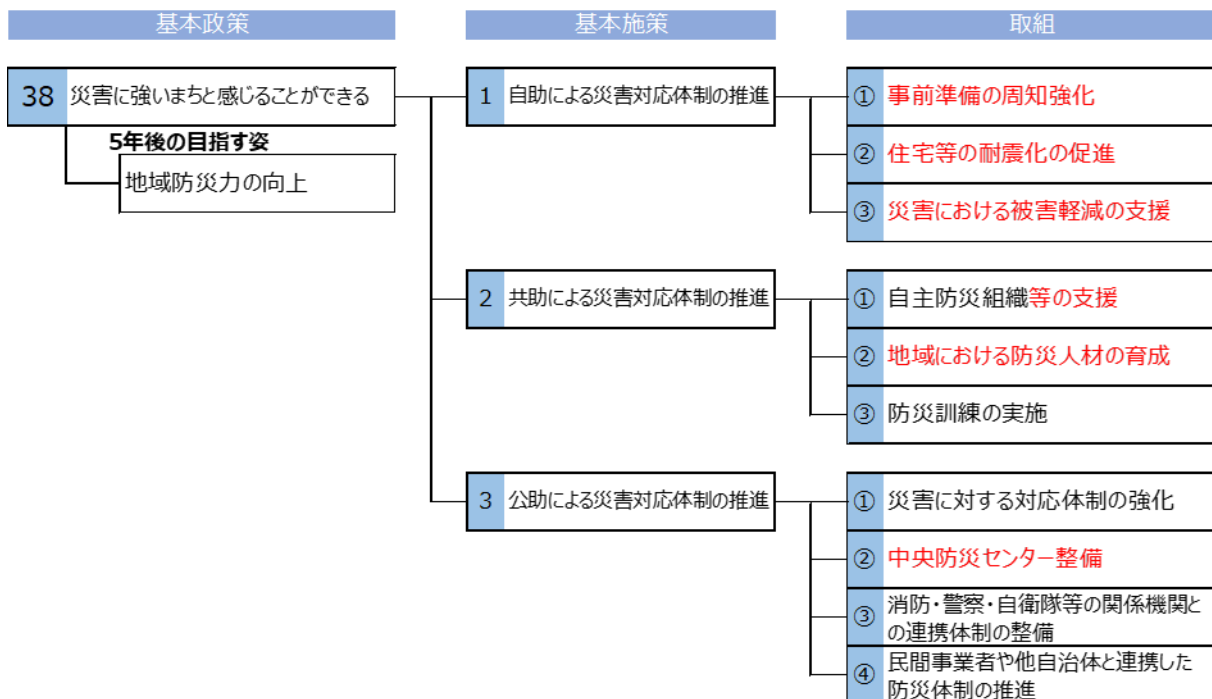
5年後の目指す姿

「地域防災力の向上」

「自分の命は自分で守る」という自助、「近所や地域の方々と助け合う」という共助、公的な支援による公助のそれぞれを充実させ、災害に対する不断の備えを主体的に進める地域防災力の向上を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
地域防災力の向上に対する満足度 (市民意識調査)	56.8% (R6)	70.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

38-1 自助による災害対応体制の推進

防災に対する正しい知識と危機意識を持ち、個人や家庭などにおいて災害の備えを十分に行うなど、自助による災害対応体制を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	3日分以上の食料等を備蓄している人の割合 (ローリングストック ¹ 等を含む。) (アンケートモニター調査)	38.1%(R6)	50.0%(R12)

【主な取組】 事前準備の周知強化

自助による災害対応を推進するため、イベントでの啓発活動の実施や出前講座の充実などにより、備蓄品の重要性や二次災害を防ぐ平時からの準備を周知していきます。

【KSF】	現状値	目標値
イベント等での啓発回数	23回 (R6)	⇒ 30回以上 (R12)

38-2 共助による災害対応体制の推進

地域全体で共に助け合う意識や災害対応力を向上させるなど、共助による災害対応体制を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	防災訓練の参加者数 (延べ人数)	20,277人 (R5)	25,000人 (R12)

【主な取組】 自主防災組織等の支援

災害に備え、地域で協力して災害対応が図れるよう、自主防災組織等の結成や運営支援を行い、地域防災力の向上を目指します。

【KSF】	現状値	目標値
自主防災組織の組織率	89.0% (R6)	⇒ 100% (R12)

¹ 日頃から自宅で利用しているものを必要分より多めに備え、日常の中で随時消費補充する備蓄方法。

38-3 公助による災害対応体制の推進

災害に対し万全を期すため、関係団体との連携の強化や避難者用の備蓄品を充実することで、公助による災害対応体制を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	富士見市防災ガイドブックを見たことがある人の割合 (アンケートモニター調査)	75.4% (R6)	80.0% (R12)

【主な取組】 災害に対する対応体制の強化

国の計画変更や訓練により確認できた課題等について、災害対応体制や設備の強化を行うことに加え、地域防災計画や防災ガイドブックの見直しを行うなど、災害対応体制を強化します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見市防災ガイドマップの見直し	－ ⇒	実施 (R12)

関連する SDG s ゴール



自助・共助・公助を推進することにより、人の命・財産を守るとともに、総合的な災害リスクの管理を行います。 関連ターゲット (11-5、11-b)



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、災害リスクの軽減に向け協力していきます。 関連ターゲット (17-16、17-17)

関連計画等

富士見市地域防災計画

富士見市業務継続計画

富士見市受援計画

富士見市建築物耐震改修促進計画

関連部署

危機管理課

建設部 建築指導課

基本政策 39

様々な危機事案の予防と被害抑制により安全安心なまちで暮らすことができる

地震や水害といった災害のほか、武力攻撃事態や様々な市民の危機に対する予防と被害抑制のための対応体制を確立し、より安全安心に暮らすことができる“まち”を目指します。

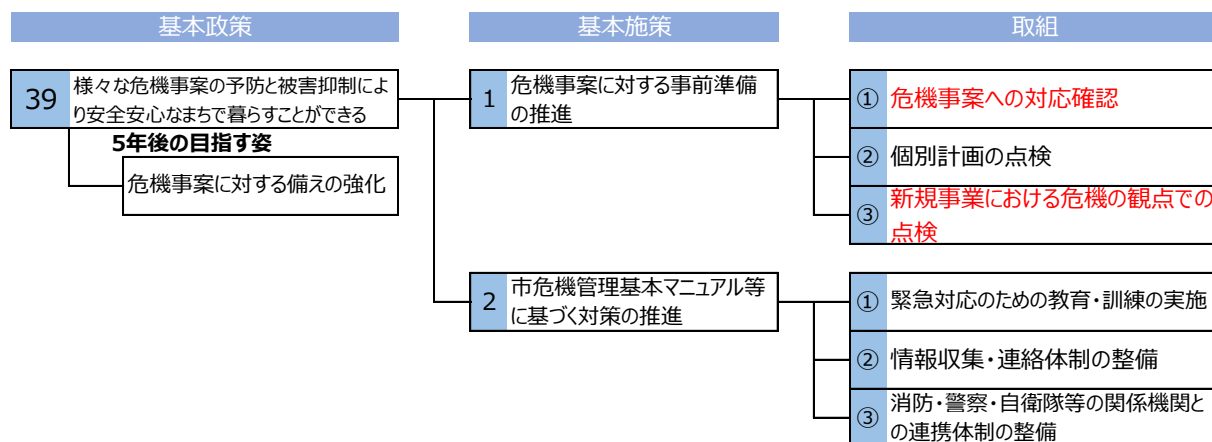
5年後の目指す姿

「危機事案に対する備えの強化」

様々な危機事案を想定し、国や県の計画に基づいた市の計画等を整備することにより、迅速な対応ができるよう、危機事案に対する備えを強化します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
国・県の計画・指針に対する市の計画の充足率	100% (R7)	100% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

39-1 危機事案に対する事前準備の推進

社会情勢の変化や市の新規事業の実施など、あらゆる危機事案を想定し、現状の個別マニュアルでは対応が難しい危機事案に対応するため、新たな個別マニュアルの整備など、危機対応体制の強化を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	危機事案別の個別マニュアルの追加の実施	実施 (R7)	実施 (R12)

【主な取組】 危機事案への対応確認

危機事案ごとに、市危機管理基本マニュアルが対応できているかを検証し、万全な危機管理体制を維持していきます。

【KSF】	現状値	目標値
危機管理基本マニュアルの点検	実施 (R6) ⇒	実施 (R12)

39-2 市危機管理基本マニュアル等に基づく対策の推進

市の施設の管理や行事等を行う上で発生しうる危機要因を排除するため、計画管理や利用時の安全点検を実施し、訓練や予防対策など市危機管理基本マニュアル等に基づく対策を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	想定される危機に対する予防対策の実施割合	100% (R7)	100% (R12)

【主な取組】 消防・警察・自衛隊等の関係機関との連携体制の整備

危機事案に備え、関係機関と迅速な対応が図れるよう、平時から消防・警察・自衛隊等と連携した訓練を実施するなど、関係機関との連携体制を整備します。

【KSF】	現状値	目標値
関係機関と連携した訓練実施回数	3回/年 (R6) ⇒	4回/年 (R12)

関連するSDGsゴール



地域の事業者や雇用者を守り、経済的成長を継続できるよう、経済支援に取り組みます。 関連ターゲット（8-1）



すべての人が安心した日常生活を送れるよう、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラ整備などに取り組みます。 関連ターゲット（9-1）



人の命・財産を守るとともに、総合的な危機事案に対するリスク管理を行います。
関連ターゲット（11-b）



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、危機の軽減に向け協力していきます。 関連ターゲット（17-16、17-17）

関連計画等

富士見市国民保護計画

富士見市危機管理基本マニュアル

関連部署

危機管理課

基本政策 40

市民の役に立つ所になる

基本構想に掲げる理想の“未来”の実現に向け、市民が「富士見市に住んで良かった」と感じることができ、充実した日々を送ることができるよう、市民の視点に立ったサービス提供を総合的に推進し、市役所がその名のとおり、市民の役に立つ所となることを目指します。

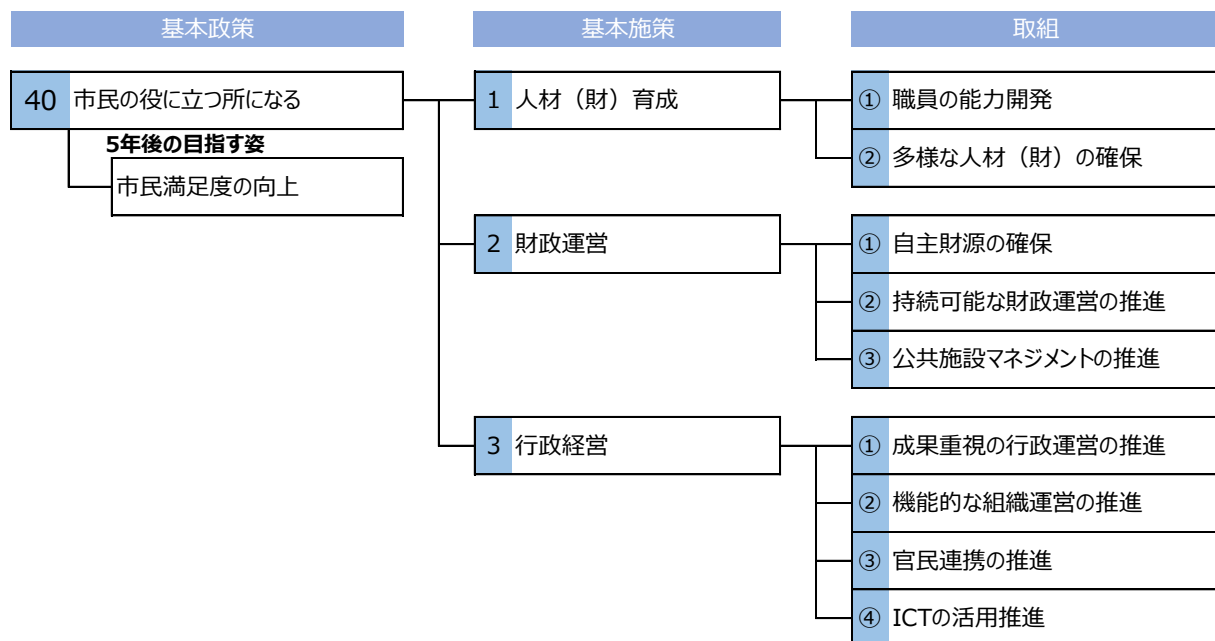
5年後の目指す姿

「市民満足度の向上」

市民ニーズを的確に把握し、社会情勢の変化に迅速に対応していくことで、個人の暮らしや人とのつながりを充実させるとともに、生活環境の向上と市の成長を促進させ、市民満足度の向上を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
行政運営に対する満足度 (市民意識調査)	53.3% (R6)	75.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

40-1 人材（財）育成

質の高い行政運営を行うため、市民に信頼され、期待される人材（財）の育成を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	普段の業務や自己研鑽などを通じて、自身の能力が高まったと感じている職員の割合	—	80.0%（R12）

【主な取組】 職員の能力開発

各種職員研修や、人事評価制度を通じた職員の育成などにより、改善意識やコスト意識を持ち、市民福祉の増進に向け、実行できる人材（財）を育成します。

【KSF】	現状値	目標値
1年に1回以上研修受講する職員の割合	82.1%（R6）	⇒ 維持（R12）

40-2 財政運営

安定した市政の運営ができるよう、「富士見市健全な財政運営に関する条例」に基づいた財政規律の維持・向上に努めるほか、人口減少などにも対応した公共施設マネジメントを推進することで、健全な財政運営を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	実質収支比率 ¹	3.5%（R5）	3～5%（毎年度）

【主な取組】 自主財源の確保

弾力的な財政構造の構築を図るため、自立的な税収基盤の整備を推進するほか、使用料・手数料の適正化や効果的な基金の活用など、自主財源の確保に努めます。

【KSF】	現状値	目標値
自主財源比率 ²	47.7%（R5）	⇒ 50.0%（R12）

¹ 自治体の財政規模に対する収支の割合。収支が黒字ならば正の数、赤字ならば負の数になる

² 収入総額に対し、自主財源の占める割合のこと

分野 30 総合行政

40-3 行政経営

機能的な組織による計画的な行政運営を実現するとともに、市民や企業、NPO などとの連携推進や ICT の活用など、柔軟で実行力のある行政経営を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	市の各施策における満足度が 55%を超えている割合 (市民意識調査)	50% [8/16 施策] (R6)	87.5% [14/16 施策] (R12)

【主な取組】官民連携の推進

多様化する市民ニーズに適切に対応していくため、民間事業者のノウハウや資金のさらなる活用、新たな連携手法の導入など官民連携の推進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
新たに外部の力を活用した事業数	75 件 (累計) (R6)	⇒ 100 件 (累計) (R12)

関連する SDG s ゴール



情報公開などに努め、市民が行政活動を知ることができ、コンプライアンスの推進など、信頼できる行政運営を進めます。 関連ターゲット (16-6)



富士見市の理想の“未来”の実現のため、市民、企業、NPO に加え、国や県など、多様な関係者との連携を進めながら行政運営を進めます。

関連ターゲット (17-17)

関連計画等

富士見市第 8 次行財政改革大綱 (令和 8 年～令和 12 年)

第 3 期富士見市キラと輝く創生総合戦略 (令和 8 年～令和 12 年)

富士見市デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画 (令和 8 年～令和 12 年)

富士見市定員管理計画 (令和 8 年～令和 12 年)

関連部署

総務部 総務課、職員課、公共施設マネジメント課、新庁舎整備室

政策財務部 政策企画課、財政課、ICT 推進課

市民部 税務課、収税課